

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は麻生医療福祉専門学校 福岡校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成28年7月8日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者
校長代行 上野 慎輔

学校関係者評価報告書

麻生医療福祉専門学校 福岡校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的.....	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針.....	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿.....	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	- 2 -
5. 学校関係者評価方法.....	- 2 -
II. 学校関係者評価内容.....	- 3 -
基準 1 理念・目的.....	- 3 -
基準 2 教育の内容.....	- 4 -
基準 3 教育の実施体制.....	- 7 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果.....	- 9 -
基準 5 学生支援.....	- 10 -
基準 6 学生募集・受け入れ.....	- 13 -
基準 7 社会的活動.....	- 14 -
基準 8 管理運営.....	- 15 -
基準 9 財 務.....	- 17 -
基準10 改革・改善.....	- 18 -

平成27年度
(2015年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生医療福祉専門学校福岡校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

	氏名	所属
業界関係者	玉ノ井 敏子	(福) まごころ会 あゆみらい保育園 園長
業界関係者	渡辺 裕子	(福) 宰府福祉会 すみれ園 園長
業界関係者	桑原 由美子	非営利活動法人発達障がい者就労支援 ゆあしっぷ理事長
業界関係者	江川 順一	特別養護老人ホーム 月隈愛心の丘 施設長
業界関係者	大庭 欣二	(福) シティ・ケアサービス 法人本部長
業界関係者	武田 聡	非営利活動法人 木もれ日 カフェヒュッテ 施設長
業界関係者	潮田 大介	(有) ケンルック 事務長
業界関係者	副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長
業界関係者	住吉 夏実	(医) 白十字会 白十字病院 庶務課広報係り 主任
業界関係者	小西 英樹	公立学校共済組合 九州中央病院 事務次長
有識者	池田 典生	(一財) 日本医療教育財団 福岡支部長
有識者	占部 尊士	西九州大学短期大学部 准教授
有識者	松尾 智子	(公社) 福岡県介護福祉士会 研修委員
有識者	今村 浩司	北九州地区 精神保健福祉協会 会長
高校	熊谷 智彦	久留米学園高等学校 校長
地域住民	高田 照幸	(株) たかた商会 代表取締役
保護者	中島 文香	こども未来学科
保護者	野上 祐子	社会福祉科
保護者	多久島 恵子	介護福祉科
保護者	尾下 千賀子	ソーシャルワーカー科

保護者	蒲池 桂子	福祉心理学科
保護者	佐藤 豊枝	医療秘書科
保護者	塚本 明子	医療情報科
保護者	岩丸 博美	診療情報管理士科
卒業生	山本 千紘	こども未来学科
卒業生	宮井 浩志	社会福祉科
卒業生	池上 幸子	介護福祉科
卒業生	山下 朋子	ソーシャルワーカー科
卒業生	児玉 諒	心理カウンセラー科 (学科名変更: 福祉心理学科)
卒業生	大本 栞	医療秘書科
卒業生	庄崎 綾乃	医療情報科
卒業生	中井 志帆	診療情報管理士科

※敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成 28 年 6 月 25 日 (土) 13:00 ~ 14:00
 場所：麻生医療福祉専門学校福岡校 451 教室

5. 学校関係者評価方法

平成 27 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する (不適合)

Ⅱ．学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神・法人の理念については、今年度より麻生塾ルールブックに明文化して、教職員全員に配布し周知しています。学生に対しては、校訓として学生便覧等に記載して入学時より周知・浸透を図っています。学外に対しても、Web サイトで紹介しています。

麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行なってきました。この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行っており、学外には Web サイトで紹介しています。

学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

主な課題及び改善の方向性

学年別の教育目的が明文化できていない学科は早急に文書化します。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・法人、学校の理念は素晴らしいと思います。
- ・一部の学科で、学年別の教育目的を明文化していないようなので、統一を図るためにも対応をお願いしたい。
- ・校訓「無私」の理念の下、「理念・目的」が教職員・学生ともに共有化されるよう願っている。

中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

「建学の精神」「法人の理念」は、教職員全員に配布されるルールブックに明文化し、全員が理解している。学生については、配布される学生便覧にも「校訓」等として記載し、入学時より周知を図っている。また、Web サイトや印刷物等で社会に公表している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校の教育目標、教育方針、校訓については、学生に配布される学生便覧に明文化し、入学時より指導を行っている。また、各学科における学生指導指針に沿った教育の中でも浸透化を図り、さらにグローバルシチズンベーシック教育の下、社会に貢献する人材となり得るべく指導を行っている。また、教職員はルールブックの内容を理解して、教育・業務にあたっている。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育方針には、職業教育機関として必要な考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、中間期に行なわれる、学校全体のカリキュラム研修時に見直しを行なっている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科の教育目的や育成人材像は、法人の理念と各校の教育方針から展開したのになっており、学生便覧の各学科学習指導指針に明示している。また、本年度からは 8 月に学校全体でのカリキュラム研修を行い、各学科の方針についての検討を行っている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学科別の教育目的は、学生に対しては学生便覧の各学科学習指導指針に提示して、学生への周知を図っており、加えて教員は、カリキュラム研修会において、その内容を検討し理解している。但し、全ての学科が学年別の教育目的を文書化するには至っていない。文書化したものに関しては、Web サイト、パンフレットなどで公表している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

人的資源として、教員は専任教員・非常勤講師を含めて、資格要件に則って教育を行っており、それぞれの分野に必要とされる知識・技術を有している。また、必要な設備、教材については、適正な教育が行なわれるために、必要に応じて整備・購入している。

=====

基準 2 教育の内容

=====

項目総括

学校および学科の教育方針は、法人の理念から展開され、カリキュラムやシラバスへ反映していますが、文部科学省・厚生労働省の指定規則によって教員の要件が定められている学科に関しては、非常勤講師によってシラバス等の精度に個人差があります。また、非常勤講師を含めてのシラバスの共有化が不十分な部分があります。

授業アンケートを実施した後の、個別のフィードバックまでは行なっていますが、その後の改善に関しては学科によって不十分な点が多く、OJTに頼ってエビデンスを示せていない点があります。

主な課題及び改善の方向性

常勤教員・非常勤講師を含めて、教育内容の共有化を図る必要があります。また、授業改善については、授業アンケートのフィードバックから、改善計画に沿った改善の実施、振り返りを行ない、それらを記録として蓄積していきます。また、リメディアル教育や入学後の学習支援については、検討を継続していきます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・大学ではオンラインシステムによる授業アンケートが行なわれていて、ペーパーよりは効率的にできており、分析もしやすい。
・教師アンケートによって、質の高い授業ができるようにと、先生方の意識も変わってくるのだろうと思った。

・人財を宝として、教職員の方々の経験が豊かで長続きすることで、カリキュラムの充実や改善が有効にされることを望む。
・「中項目2-2」については、B評価が多くみられるため、改善をお願いしたい。

・学校に通うようになって、在校生や教員の影響でよく話すようになった。医療分野に関わるなかで必要なのは「謙虚な気持ちを持つこと」だと思う。就職の際に役立つと思うが、それを教育の内容に落とし込んで実施しているのか。

→(回答) グローバルシティズンベーシック教育で志と感謝の教育を行っている。但し、浸透できていない点も多く、課題であると感じる。

・授業アンケートの結果をどのように活用しているのか。また、効果は期待できるのか。

→(回答) 非常勤を含めて実施し、統計分析を行なっている。常勤に関しては、レーダーチャート化して中間期と期末の面談時にフィードバックを行い、各自の振り返りと課題抽出を経て改善まで行うことができる。講師要件の厳しい非常勤講師担当の科目では、改善を図るまではいかないこともあるが、責任者を含めての面談等で改善の依頼を行なっている。

・ミニアンケートとアンケート(年2回)の違いは何か。

→(回答) ミニアンケートは、授業の後に授業担当教員が、主にクラスの理解度を図るために質問紙への記入方式で実施。授業アンケートは担当以外の教員がマークシート方式で実施し、統計分析ができる内容となっている。

・「小項目2-2-5、2-2-6」の未実施の学科は同一学科なのか？

→(回答) こども未来学科、社会福祉科、医療系学科は実習が入った関係で、アンケート自体は実施したが、授業見学やフィードバック等が十分にできなかった。今年度は実施時期を変えて、検証まで行なうよう計画中である。

・改善が必要という点は、どのような指標を元に改善されたと判断するのか。

→(回答) 前期では責任者の上野からフィードバックして、各系の副主任がフォローする。後期にも同じようなアンケートを実施して、同事項を評価する。また、前年度からは卒業に際してもアンケートを行なうようにした。

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年に2回開催されている教育課程編成委員会での意見および就職グループとの連携において、業界の人材ニーズを把握し、それに向けた学科の育成人材像およびカリキュラムを検討・作成し、社会に公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

育成人材像に向けたカリキュラム一覧を作成し共有している。また、学生に対してはシラバスを開講時に配布し、説明している。コマシラバスの作成はできているが、特に非常勤講師によって、精度に個人差がみられる。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育課程編成委員会を設置し、年2回の会議を開催している。カリキュラム会議は、広報・就職担当者の意見と教育課程編成委員会での意見を元に開催している。また、高校への広報活動時に教員も同行したり、実習施設への実習巡回時に業界情報を入手するなど、常に顧客ニーズを反映できる体制がある。また、それらの意見もカリキュラム作成に反映させている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

専任教員の担当科目に関しては、カリキュラム会議において検証・見直しを行なっている。また、シラバス・コマシラバスが共有フォルダで管理されているため、共有可能となっており、教科間の整合性も確認できる状態になっている。但し、非常勤講師に関しては、システム上共有化しづらい状態であり、検証および見直しについても、提出時の確認を行なっている状況である。

中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： B

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

計画に基づき、授業ミニアンケート、担任教員・授業アンケートを年2回実施している。アンケート実施後は、結果を踏まえて校長代行および副主任による個別面談を実施し、その内容を報告書・改善計画書に記載している。新任教員およびアンケート結果の下位者については、計画に則って主任または副主任とリーダーによる授業見学を実施し、記録に残して進捗管理を行うが、本年度は一部の学科で実行できなかった。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

改善が必要な教員に関しては、責任者会議で共有し、授業見学等の改善を計画的に実施しているが、本年度は一部の学科で実行できなかった。副主任およびリーダー等からのアドバイスを OJT で行ってはいるが、効果の検証や見直しを組織的に行なうまでには至っていない。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

法人から発信される研修については、目的に応じて年間計画を作成し、部門内の人材育成計画に基づいた研修が計画的に実施されている。専門分野に関する研修については、部門長の判断に基づき、時期や人員を考慮して、自己啓発支援をしている。

中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学科で定められた分野において、現場実習を実施し、実社会で必要な応用力やコミュニケーション力、協調性・責任感等の育成を目指している。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

GCB をはじめ、各実習においての実習指導や就職実務など、キャリア教育に関する内容をカリキュラムに組み込んでいる。また、それらには、各学科におけるそれぞれの業界に必要な内容を組み込んでおり、社会的・職業的自立を促す教育を行っている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学予定者に対しては、事前課題を与えている学科もある。入学後は、必要時に補講を適宜実施している。しかし、個々人の学力や学習習慣の格差が大きく、基礎学力に特化した教育については、具体的かつ有効的な方策について検討中である。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

項目総括

教員の採用基準に関しては、文部科学省・厚生労働省関連の学科については、指定規則を採用の基準を最優先とし、加えて教育方針に沿った人材育成を実現できる資質を備えた基準を設けてはいますが、明文化までにはいたっていません。また、指定規則を遵守する必要があることから、非常勤講師に関しては、年齢構成までを充分考慮しているとはいえない状況です。

主な課題及び改善の方向性

採用基準(常勤・非常勤)に関しては、人事総務グループと調整をし、検討をすすめていきます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・入学してくる学生の学力の差が様々だと思うので、学生が就職してからも仕事を続けられるよう、「とりあえず就職する」や「そこに就職したい」といった考えだけにならないよう、その先もしっかりやっていけるのか、個々人に合った就職先であるかなど、一緒に考えていくと、現場でも活躍できると思う。

・学生の資質や性格等様々な背景が見られるが、担任と学生との関わる時間をどのように確保しているのか。また、その比重を増やすことは可能であるか。

→(回答) ケースバイケースであるが、カウンセラーの先生が来て予約制で実施。担任一人が抱えるのではなく、色んな観点から学生をサポートしていこうという狙いで、ケースカンファレンスを実施。学生自身の抱える問題が解決しにくいので、様々な教員がこの解決に関わる体制を整えている。

・熊本での地震の件もあるので、地震等に対する対策も含め、調査・メンテナンスすべき点は行なえるとよい。

中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

採用基準では、文部科学省・厚生労働省の指定規則に係る分野に関しては遵守し、採用基準として明文化している。しかし、指定規則等のない分野に関しては、専門性及び経験、必要な資格に関する基準は明確に定められていないことも多く、明文化までにはに至っていないため、検討の必要がある。

小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

厚生労働省関連の分野に関しては、指定規則に則って専任教員を配置し、過重な負担とならないよう、兼任とのバランスも考慮している。しかし、それぞれの分野において要件があるため、教員の年齢構成等についてまでは十分な考慮ができていない。

小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年に 1～2回の非常勤講師会を定期的に行なっている。また、授業実施報告書による報告や、授業の内容や学生の状況等、非常勤講師とクラス担任とで適時情報交換を行なっている。

中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

図書館に業界関連書籍のコーナーを設置しており、教職員・学生が利用できる環境を整えているが、今後も定期的に蔵書をチェックして、新しい情報が得られる環境にしていくことが望ましい。

小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリアサポートセンターを設置して、学生が就職に関する情報を収集できるよう、病院・施設・企業のパンフレット、および過年度の就職試験の受験報告書を備え、常時閲覧可能としている。就職グループを組織して、専門職員による就職指導を行なっている。

小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生・生徒災害傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入している。また、実習に際しては、各学科で文書化した実習要項に基づいて、安全対策について指導した上で実習を行っている。

小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯設備については、保守点検を毎月実施しており、点検結果の説明を受けたうえで、報告書を適切に保管している。使用方法については、受入時や消防訓練などの機会を通じて、教職員の理解度向上に取り組んでいる。

小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年度末には次年度に向けての設備・備品・教具の点検を行い、必要があれば直ちに改修・補充・購入を行っている。また教室管理担当者を決めて管理を行っている。

小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成していないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当でも行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

教科の評価・成績、国家試験および資格・検定の合格率・合格者数に関して、目標の設定・共有、達成への取り組みと、結果の報告・評価についてはできていますが、結果の検証からの改善までの取り組みは、学科や試験の項目によって不十分な点があります。

主な課題及び改善の方向性

結果を踏まえた上での、検証から改善に向けた取り組みを計画的に行なっていきます。また、試験結果の分析に関しては、系責任者を中心とした系内での分析結果を責任者会議で情報共有を行い、自部門以外からの観点で分析結果を評価します。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

=====

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

=====

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

授業準備および教材研究は、各教科担当が行っている。資格取得のための教科については目標設定ができていますが、全ての教科の評価・成績に関しての具体的な目標設定は行っていない。期末試験については、結果を学科会議等での報告とともに、次年度に向けての取り組みに活かしている。成績表等は麻生塾システムのデータベースに記録している。また毎期末に所定の書式で記録を残し、校長代行及び主任・副主任により点検、確認を行っている。記録については所定の書棚で管理をし、個人情報に留意している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

国家試験の合格率・合格者数等の目標を設定し、事業報告書に記載している。また、それらを教職員で共有した上で教育活動を行ない、結果については学科会議等で協議をしているものの、教育内容や教育方法を見直すまでにはいたっていない部分もある。

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

資格、検定に関する目標を回ごとに設定し、事業計画書に記載して、キックオフ会議にて明示している。それらは進捗状況とともに全教職員で共有している。結果については、検定結果報告書で随時報告し、パンフレット、Web サイト等で公表している。結果については、検証から改善までのしくみづくりが徹底されていない部分もある。

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

学生の内定目標および就職スケジュールを設定し、就職グループの担当職員、学科内の教員とで共有している。内定目標については、事業報告書に記載している。また、学生の就職活動に関する記録は、必要時教職員で共有し指導に活用している。就職試験の結果に関しては、検証・報告を定期的を実施し、次年度の就職指導に役立てている。就職実績は、パンフレットや Web サイト等で公表している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

卒業率アップにつながることから、各学科・系にて退学率に関する目標設定を行って、事業計画書に記載している。教務会議にて卒業率向上の意義を教職員が理解し、共有している。退学に関する検証はクラス運営報告書・ガイダンス報告書を元に随時行い、MM 会議にて報告している。また、その内容を教職員で共有し、事後の指導に役立てている。退学者数は Web サイトで毎年公表している。

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

学生から提供される「進路決定届」を元に、麻生塾システムに入力して進路、就職先を管理している。また印刷物や Web サイト・掲示等で結果を公表している。

小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の 1 年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

就職グループの担当者が、卒業生の就職先へ定期訪問すると共に、お客様アンケートを実施することにより、入社 1 年経過者、3 年経過者の在籍確認をしている。

=====

基準 5 学生支援

=====

項目総括

担任制の下、学生・保護者・学校の連携を図りながら、個々の学生の状況に沿った支援を行なっています。また、今年度からは特別な支援が必要であると考えられる学生に対して、外部の専門家による相談・支援を試みて、効果を生むことができたので、今後も継続していきます。

卒業生への支援については、医療福祉業界に特化した講座・研修が少なく、効果の検証ができていません。

主な課題及び改善の方向性

卒業生に対する医療福祉業界に特化した講座・研修について、麻生塾校友会に相談し、検討していきます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・卒業生、就職先、高校への状況把握は、適切に行なわれている。

・資格を取得しても離職してしまうこともあるので、卒業後のフォローアップをして欲しい。原因としてはコミュニケーション不足があるのではないか。

・卒業後のフォローアップ強化をお願いしたい。

・卒業後 1 年目だけでなく、3 年目くらいまでのフォローが必要ではないか。

・福祉業界は、高い離職率や人材不足で悩みを抱えているところを多く感じます。特に自分の施設だけにこもってしまうと、悩みや不満を抱え込みがちになるように思うので、同業種に進んだ卒業生同士の情報・悩み等の共有を図り、つながりが強まると良いと思う。

・校友会での集まりでも同じ分野での集まりはなかった。

・卒業後は学校の友人同士の関係が薄くなっていくが、校友会は規模が大きいため参加のハードルも高い。上記のような機会を設けると良いのではないか。

・卒業生へのフォローはとても素晴らしいと感じている。今後も継続をお願いしたい。

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか。(在学時)

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： **S**

=====

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担任は、年度や学期の開始後等、定期的および必要に応じて随時面談を行い、面談内容を時系列に文書化したガイドンス報告書を作成して副主任をはじめ、責任者が閲覧・確認して、指導に活用できる状況にしている。

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。有資格者は福岡キャンパス・北九州校・ABC校に在籍しており対応できている。

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教職員間において、担任以外にもクラスや学科を超えて相談できる環境を目指しており、学生相談室を設置して、希望者には臨床心理士によるカウンセリングも行なっている。また、平成 27 年度からは一部の学生に対して、外部の専門家による相談・支援も開始した。

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法人内にはハラスメント委員会が設置されており、教職員・学生に対して、ハラスメント防止に関するガイドラインを明示している。学生が受けたハラスメントについても、教職員と同様に対応可能であり、研修を受けた教職員が対応しているが、専門的な領域では、臨床心理士との連携も図っている。

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職に関する保護者会、三者面談を実施し、学校の情報と学生の情報に関して情報を共有して、保護者の理解や信頼関係構築を図っている。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国際交流センターを設置し、留学生の修学支援や就職支援を専門的に行っている。社会人学生に関しては一部の学科を対象に、職業訓練制度や教育訓練給付金制度が活用できる。障がい者については、学科の特色を鑑みて、可能な限り受け入れを行っている。また就職支援に関しては、就職グループが中心となり個別に支援している。

小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

男女共に直営寮および留学生専用の学生寮を完備している。寮則を遵守し運営をおこなっており、担当者および各学校責任者による定期的な巡回で、寮監および寮生より状況把握のための聞き取りをおこなっている。寮生に対してのアンケートを実施し、満足度向上に繋がる改善をおこなっている。

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教職員が部活動顧問として課外活動支援を行い、年間の予算を管理、報告を行っている。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか。(卒業後)

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校友会を設置し、2年に一度総会を実施している。また年に2回、総会有一些年3回、学校通信を卒業生に配布している。Web サイトおよび facebook でも定期的に知らせている。独自に同窓会を組織している学科もあり、定期的な総会実施によって業界の情報交換等を行っている。

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、Web サイトを活用して求人紹介を行ったり、必要なスキル習得のために、校友会組織が講習・研修を実施したりしている。ただし、医療福祉業界に関する貢献度や効果についての検証はできていない。

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

担当者が訪問し、就業状況についてヒアリングをしている。卒業生の就職先に対し、就業 1 年後にアンケートを実施している。個人情報に関して、印刷物等で紹介する時は本人確認を実施している。過年度の調査記録はデータで保管している。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校友会に関しては、年に2回、総会有一些年3回、学校通信を卒業生に配布している。Web サイトおよび facebook でも通知されている。

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校の Web サイトを通じてブログなどで情報を提供すると共に、就職ホットニュースを作成し学校情報を保護者に配布している。

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

Web サイトなどで学生の資格取得状況を報告している。

小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職用パンフレットにて情報を提供しているが、それ以外に定期的な書面配布は実施していない。情報はHPを見てもらう様に案内している。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

学生募集に際しては、学校案内等にアドミッションポリシーを明示し、入学志願者にとって必要な事項についても、全て記載しています。また、募集活動・入学者の選抜に際しても、教務と各支援グループの連携によって、適正に管理・実施されています。

主な課題及び改善の方向性

特にありません

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・様々な思いや考えを持った学生が集まるので、クラスの雰囲気等も含めて、皆が意識を高く持って取り組めるよう先生方が関わっていただきたい。
 ・これからの福祉・介護人材の確保のためにも、確実に新入生の確保をお願いしたい。

中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

パンフレット、募集要項、Web サイトにてアドミッションポリシーを明示すると共に、オープンキャンパスにおいて説明している。
 また入学予定者に対して、入学説明会を実施する中で説明している。

小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

募集要項、パンフレットなどに育成する学生像が記載されている。またオープンキャンパスにおいても各学科にて詳しく説明している。

小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

募集要項、Web サイトなどに明示している。教職員はその内容を周知しており、学費・教材等に関する内容を説明することができる。

小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

選考方法は募集要項で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施しており、実施方法や選考基準については、定期的に検証している。

小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

情報は、パンフレット、Web サイトで正確に公表している。学生の資格取得、就職情報については定期的に更新を行っている。

小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

学科ごとの入学定員については、定期的に検討されており、収容定員に基づいた在籍学生数を適正に管理している。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

社会的活動については、行政をはじめ各学科の人材育成に関連した業界団体、教育機関等との連携を図って、計画的に行なわれています。

地域貢献を目的とした無料公開講座については、お仕事スタジアムを開催しています。

主な課題及び改善の方向性

学校独自で開催する地域での無料公開講座等について検討します。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・挨拶や清掃、被災地への寄付等聞いている。

・介護福祉系に関しては、職能団体である福岡県介護福祉士会との連携もお願いしたい。

=====

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

=====

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

福岡キャンパス内に設置しているボランティア推進委員会を中心とした活動と、本校へ社会福祉施設や地域から直接依頼があるイベント等のボランティア募集に対し、学生の自主的なボランティア活動を推進している。単位に関しては、制度上問題がない場合には認定している。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

業界動向の把握と業界との連携強化のため、日本病院会、日本秘書教育全国協議会、日本介護福祉士養成施設協会、日本社会福祉士養成施設協会、メンタルケア学会、福岡県介護福祉士会他、関連業界の団体に加盟している。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

地域のニーズに向けた公開講座として「お仕事スタジアム」という職業紹介、情報発信の場を設けており、企業と連携して専門分野の講座を実施している。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

博多区内の老人福祉センターでの健康相談をはじめ、同センターや地域の小学校でのレクリエーション実施を行なっている。また、社会福祉協議会との連携により、イベントの企画・運営に参画している。

=====

基準 8 管理運営

=====

項目総括

学校の管理・運営に関しては、経営推進室によって整備が進められている各規程に則って、連携のうえ行なっています。

主な課題及び改善の方向性

学生を含めた防災訓練について、実施時期の検討を進めます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・「小項目8-1-8(不適合)」について、改善をお願いしたい。
- (回答)文書化を早急に進める。
- ・不適合項目があるが、今後に期待している。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

運営会議は定期的開催しており、学校運営に関する諸々の事項を決定しており、内容は議事録にて保存している。また MM 会議にて学校の運営状況、法人経営層へ報告している。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

福岡キャンパスでの校務分掌および各校、各部署において職務分掌を文書化している。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題である。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示まではいたっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題である。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的に行っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

リスクマネジメント規程および危機管理体制のガイドラインとして文書化し、麻生塾ルールブックにも記載している。また、年1回避難訓練を行っており、訓練を実施するにあたって、教職員の役割分担の周知を図っている。設備に関しては、保守点検業者を通じて定期的に整備点検が実施され、報告を受けている。今後は、防災訓練の実施時期に関する検討が必要である。

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報保護規程を文書化して閲覧可能な状態となっている。教職員は全員内容を周知しており、規程に基づく行動を心がけている。

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止規程を文書化し、ハラスメント防止のガイドラインも定められている。法人内においてハラスメント委員会を組織し、麻生塾ルールブックにも記載している。ハラスメント相談員に対する研修は年2回実施され、担当委員が出席している。

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科が育成する人材像から、その育成に必要な教職員の能力及び資質の向上を目的とした研修計画を立てて「教職員研修規定」に則って組織内外の研修を実施している。受講に関しては、責任者の判断および自己啓発等、目的に応じて支援している。

=====

基準 9 財 務

=====

項目総括

財務運営については、経営推進室および経理グループ・人事総務グループとの連携の下、適切に行なわれています。

主な課題及び改善の方向性

特にありません

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・麻生内での内部監査も行なわれているとのことで、きちんと運営されていると思われる。

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**A**

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

中長期計画に基づいた年度予算案を作成し、理事会にて承認を得ている。決定した事業計画は年度初めのキックオフ会議にて全職員と共有している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

校長代行により月次予算が作成され予算執行を行っており、毎月の実績確認と管理・改善を行わっている。

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果：**B**

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

固定資産管理規程を文書化し、規程に従って適切に管理・運用している。

小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題である。

=====

基準10 改革・改善

=====

項目総括

委員会組織としての活動は、年間計画をはじめ内部監査の実施、定期的な委員会活動等を行っております。しかし学校内での活動は、責任者が委員として活動して、意義・重要性についての発信はしていますが、教職員によって理解の差があると思われ、改善・改革に向けて十分に機能していません。

主な課題及び改善の方向性

自己点検・評価についての教職員の意識を向上させ、結果の検証と改善に向けて、学校全体で取り組むためのしくみ作りを行います。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・「自己点検・評価」については、教職員間でかなり格差があるように感じ、難しいところだが重要な点なので、検討結果に期待をしたいと思っているが、委員会に参加して状況を聞き、改善・継続が難しいことなのだと感じた。

・不適合項目があるが、今後に期待している。

=====

中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**A**

=====

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

自己点検・評価項目一覧表に「方針・目標・あるべき姿」が明確になっており、2015 年度からは、評価レベルを設定して評価できる状態となっている。責任者からなる自己点検・評価委員会を中心とした活動が行われている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

自己点検・評価委員会を中心とした活動を行っておりますが、その意義や重要性に関しては、教職員によって理解の差があると思われる。年度初めには、自己点検・評価活動の意義や重要性をが発信しているが、理解を深めて、改善活動に教職員全体で取り組むためのしくみが必要である。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果：**C（不適合）**

■コメント

定期的に自己点検・評価を行なっている。また、改善すべき点については実行しているものの、エビデンスとなる書類等に不備があることが内部監査によって判明し、フォローアップを実施した。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

委員会により評価結果を文書化している。自己点検・評価の結果を公表できる体制を整えている。